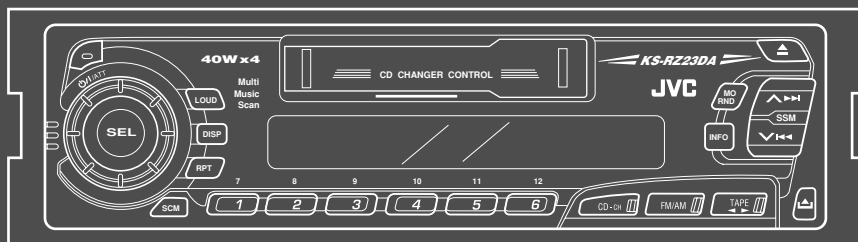


取扱説明書

JVC

KS-RZ23DA

カセットレシーバー



— お買い上げありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

● 主な特長	2
● 安全上のご注意	3～7
● 各部の名前と働き	8～13
● 時計の合わせかた	14
● 音量・音質の調節	15～17
● ラジオを聞く	18～21
● テープを聞く	22～25
● CDチェンジャーのCDを聞く	26～29
● テレホンミュージティングについて	29
● 他の機器の音を聞く	30～31
● レベルメーターの表示切換え	31
● コントロールパネルの着脱	32
● 正しくお使いいただくために	33
● こんなときは	34
● 保証書とアフターサービス	35
● 主な仕様	36
● お手入れ	37
● 用語索引	38

主な特長

- **ダイレクトソース(音源)切換**
 - ・ ラジオやテープ、CDチェンジャー内のCDなどの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- **40W×4ハイパワーアンプ内蔵**
- **フルロジックオートリバースメカニズム**
 - ・ 前後9曲のミュージックスキャン
 - ・ ブランクスキップ機能
- **SSM搭載チューナー**
 - ・ HS-II (高感度)チューナー
 - ・ FM放送に限りSSMによる放送局のメモリーが可能
 - ・ 24局プリセット(FM → 6×2局、AM → 6×2局)
 - ・ 交通情報が聞けるINFOボタン
- **チェンジャーコントロール機能**
 - ・ 12枚CDチェンジャー(CH-Z90DAなど)に対応
- **マルチ電子コントロール(音量・音質)**
 - ・ サウンドコントロールメモリー リンク
- **SCM LINK機能**
- **ライン出力端子×1系統(RCAピン)**
- **テレホンミュージティング機能**
 - ・ 別売りのハンズフリーシステム：TF-HF5M使用

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故などの原因となります。



警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取付は避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取付は避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取付けないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- カセットテープ挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電の原因となることがあります。

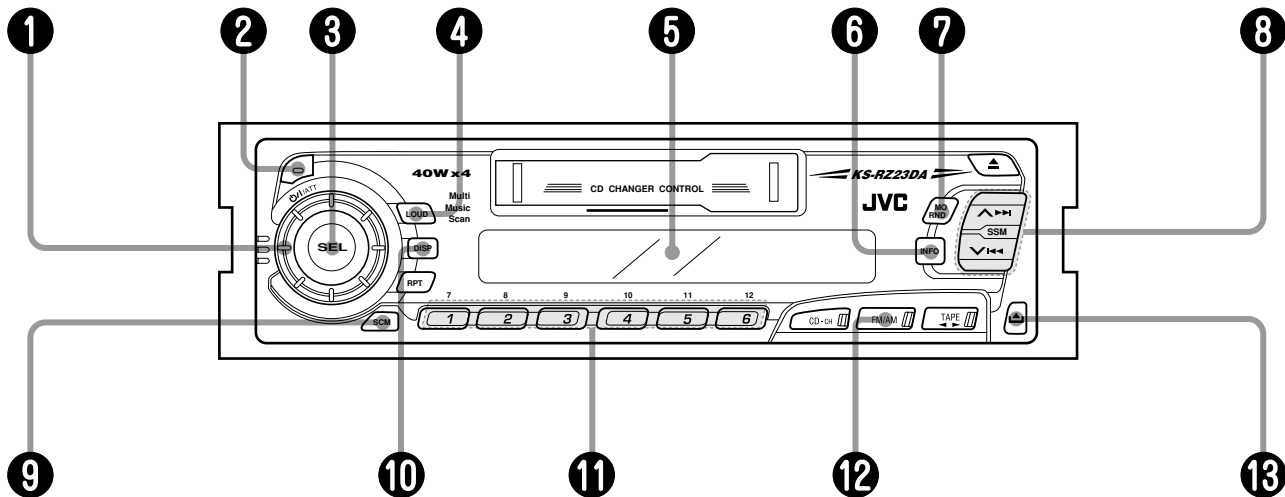
- カセットテープ挿入口に手や指を入れないでください。



・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

各部の名前と働き(1) — 共通部分およびラジオを聞くときの働きです。 —



1 ジョグダイヤル：共通

電子ボリュームのレベルが調節できます。➡15ページ参照

2 アッテネーター ⏻/⏻(電源)/ATTボタン：共通

電源の「オン」↔「オフ」や音量を一時的に下げることができます。➡14ページ参照

3 セレクト SELボタン：共通

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに



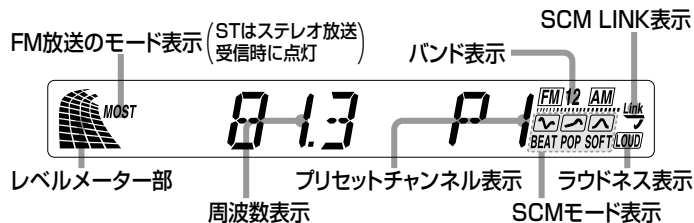
と変わります。➡15ページ参照

2秒以上押しと時計合わせなどができます。➡13 14ページ参照

4 ラウドネス LOUDボタン：共通

小音量時の低音、高音を増強するとき使います。
→16ページ参照

5 表示窓(ラジオのとき)



6 インフォメーション INFOボタン：共通

道路交通情報 (AM1,620kHz) を聞くと使います。
→21ページ参照

7 モノラル MOボタン

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。
→20ページ参照

8 選局ボタン(∨、∧)/SSMボタン

放送局を選局するとき使います。→18ページ参照
∨と∧ボタンを同時に2秒以上押すと、電波状態の良いFM放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→19ページ参照

9 サウンド コントロールメモリー SCMボタン：共通

聞きたい音楽に合わせて音質を選びます。→16ページ参照

10 ディスプレイ DISPボタン：共通

表示窓の表示を変えるとき使います。
押すごとに「ソース(音源) ↔ 時刻表示」が選べます。

11 プリセットボタン(1~6)

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM、AMとも各バンドごとに6局ずつメモリーできます。→20ページ参照

12 FM/AMボタン

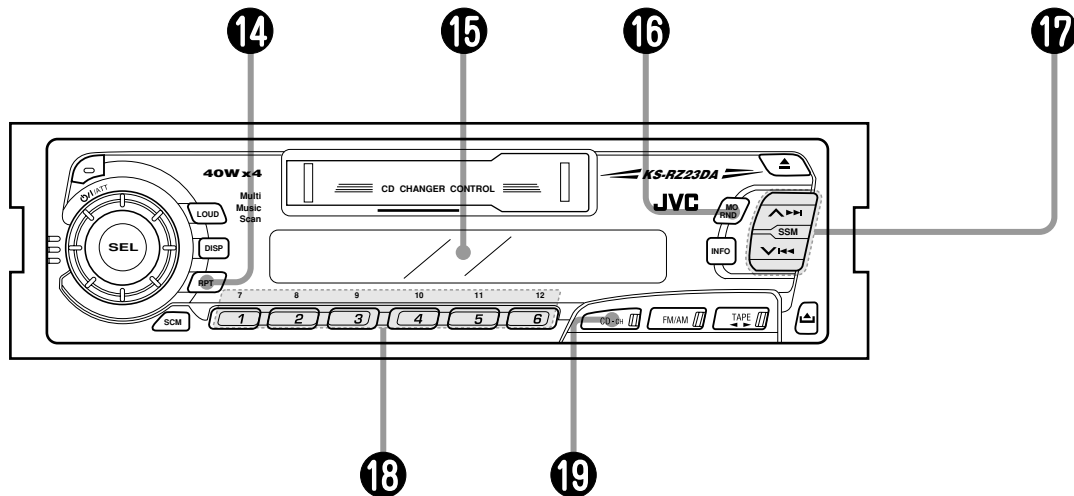
ソース(音源)を「ラジオ」にしたり、FMとAMの聞きたいバンドを選ぶとき使います。→18ページ参照
電源を入れることもできます。
押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2→FM1…と順に変わります。

13 コントロールパネル取り出しボタン(▲)：共通

コントロールパネルを外すとき押します。→32ページ参照

各部の名前と働き(2)

— CDチェンジャー内のCDを聞くときの働きです。 —



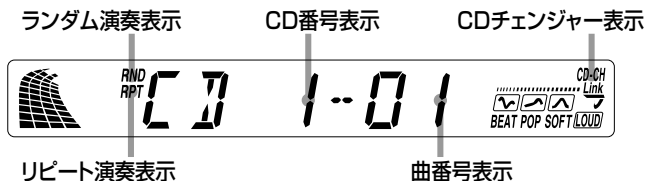
〈お知らせ〉

- 本機にCDチェンジャーが接続されていないときは、ソース(音源)が「CDチェンジャー」にはなりません。

14 ^{リピート} RPTボタン

曲をくり返して聞くことができます。(リピート演奏)
 ➡ 27ページ参照

15 表示窓(CDチェンジャーのとき)



16 ^{ランダム} RNDボタン

CDチェンジャー内のCDに収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。(ランダム演奏)
 ➡ 27ページ参照

17 ◀◀▶▶ (スキップ/サーチ)ボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しに使用します。➡ 28ページ参照

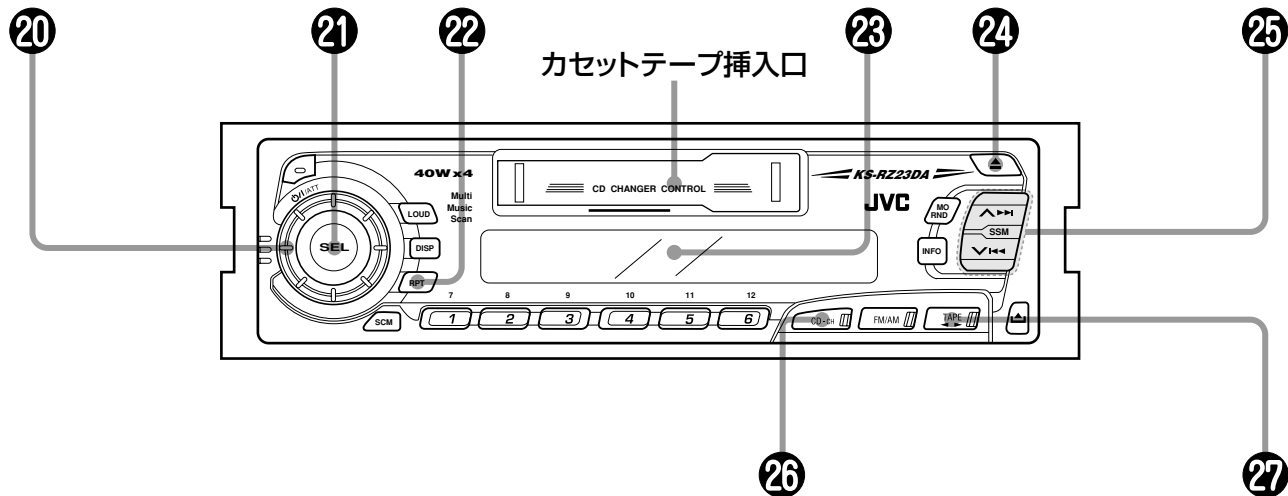
18 CDダイレクト選択ボタン(1~6)

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使用します。
 ➡ 28ページ参照

19 ^{チェンジャー} CD-CHボタン

ソース(音源)を「CDチェンジャー」にするとき使います。電源を入れることもできます。➡ 26ページ参照

各部の名前と働き(3) — テープ再生の音および他の機器の音を聞くと、きの、その他の働きのです。 —



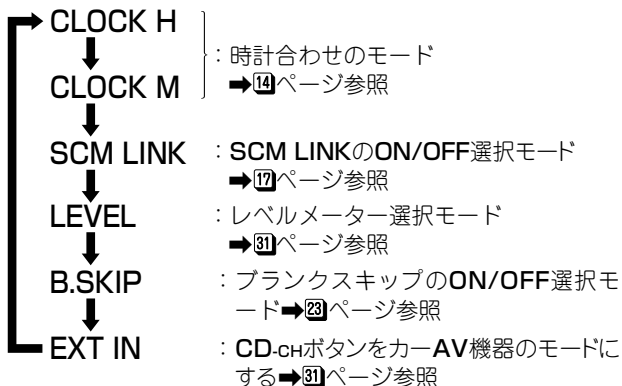
20 ジョグダイヤル：その他

SELボタンを2秒以上押して選んだ各モードの調節または選択ができます。→14 17 31 ページ参照

21 SELボタン：その他

2秒以上押すと、お買い上げ時は「CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき▶▶I(またはI◀◀)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。

例は▶▶Iボタンを押したときです。I◀◀ボタンでは逆に変わります。次から選んだモードが優先的に表示されます。



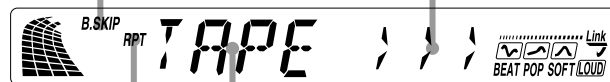
22 リピート RPTボタン

再生中の曲をくり返し聞くことができます。→23 ページ参照

23 表示窓(TAPEのとき)

ブランクスキップ表示

テープ走行方向表示(フォワード方向)



リピート表示

テープ表示

24 ▲(テープ取出し)ボタン

テープを取り出すとき使います。→25 ページ参照

25 I◀◀、▶▶Iボタン

1秒以上押すと早送りや巻戻し、「ボン・ボン」と押すと、ミュージックスキャン(曲の頭出し)ができます。→23 24 ページ参照

26 CD-CHボタン

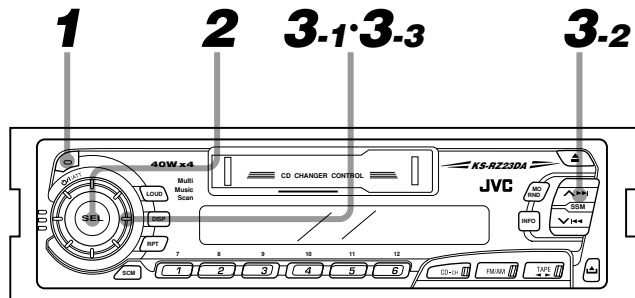
「LINE IN」のモードに切換えたあと、接続した他の機器のソース(音源)にするとき使います。→31 ページ参照
電源を入れることもできます。

27 TAPE◀▶ボタン

ソース(音源)を「TAPE」にするとき使います。再生中に押すと、テープの聞きたい面を選ぶことができます。
電源を入れることもできます。→24 ページ参照

時計の合わせかた

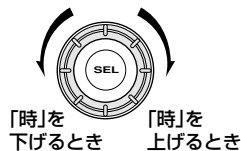
— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —



3 現在時刻に合わせる (時刻表示点滅中に操作します)

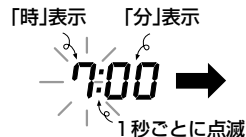
例：7時30分に合わせるとき (12時間表示方式です)

「時」を合わせる

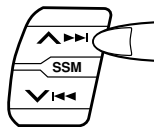


「時」を
下げるとき 「時」を
上げるとき

(3-1)

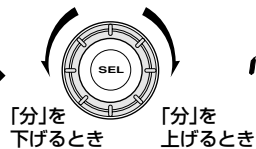


「CLOCK H」を
表示させる



(3-2)

「分」を合わせる



「分」を
下げるとき 「分」を
上げるとき

(3-3)

- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース (音源) 表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2～3の操作をします。
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

1 電源 (電源) / ATT を押して電源を入れる (HELLOが表示されます)



- ・電源を切るときは、1秒以上押します。
- ・「ボン」と押したときは、ATTになり音量が一時的に下げられ、ATT表示が点滅します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

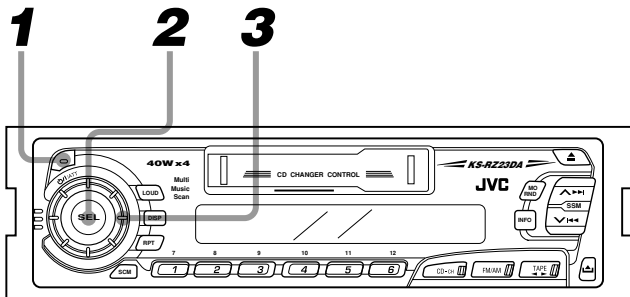
2 SELを2秒以上押して「CLOCK H」を表示させる



→ CLOCK H

- ・「CLOCK H」以外の表示が出たときは、▶▶ (または ◀◀) ボタンを「ボン・ボン」と押して選びます。

音量・音質の調節



一口メモ

- 調節したレベルはメモリー（記憶）されます。電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は 4 スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 電源/ATTを押して電源を入れる (HELLOが表示されます)



・電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

2 SELを押して調節したいモードを選ぶ



・「ボン」と押す

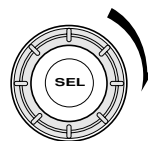
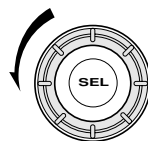
・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

BAS → TRE → FAD → BAL
↑ VOL ↓

と変わります。ただしVOL(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接ジョグダイヤルで調節できます。表示窓のメーター部に現在のレベルが表示されます。

3 ジョグダイヤルを回して調節する

・調節したレベルが表示窓のメーター部に表示されます。



VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

音量・音質の調節(つづき)

●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOL(音量)	15	00~50
BAS(低音)	00(フラット)	-6~+6
TRE(高音)	00(フラット)	-6~+6
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア フロント R 6 ~ F 6
BAL(バランス)	00(センター)	レフト ライト L 6 ~ R 6

・調節が終わってから5秒後に、表示窓は前のソース(音源)表示に戻ります。

●ラウドネスコントロールについて



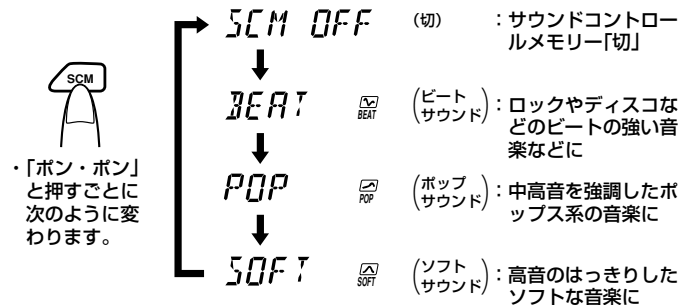
・押すごとに「オン↔オフ」になります。

お買い上げ時は、ラウドネス「オン」に設定されており表示窓に**LOUD**が表示されます。
小音量時の低音、高音が増強され聞きやすくなります。

LOUD ON ↔ **LOUD OFF**

SCMボタンの使いかた

サウンドコントロールメモリーを使ってお聞きになる音楽にあわせて音質が自由に選べます。



●SCM LINK機能について

SCM LINKとは、ビート、ポップおよびソフトサウンドの音質を各ソース(音源)ごとにメモリーしておく機能のことです。
お買い上げ時は「LINK ON」(が表示)になっておりますので、好みの音質に調節しメモリーしてください。ソース(音源)を変えるごとに、違った雰囲気サウンドが楽しめます。

SCMのメモリー内容を変えるには

ビート、ポップおよびソフトサウンドは、好みの音質に調節しメモリーできます。LOUDネスの「オン/オフ」も一緒にメモリーできます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ラジオ、テープまたはCDチェンジャーなどから選びます。ただし、「LINK OFF」のときは、必要ありません。

2 SCMを押してサウンドを選ぶ

- ・BEAT、POPまたはSOFTのいずれかを選びます。

3 SELを押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

4 ジョグダイヤルで音質を調節する

- ・LOUDネスを「オン/オフ」するときには、LOUDボタンを使います。

5 SCMを2秒以上押す

例：ビートサウンドの調節するとき



- ・ソース(音源)に合わせたサウンドがメモリーされます。別のサウンドやソース(音源)に変えても、再びそのソース(音源)に戻すとメモリーされていた音質に戻ります。

SCM LINK機能を取り消すには

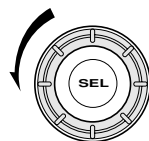
各ソース(音源)とも同じ音質にしたいときは、SCM LINKを「OFF」にします。

1 SELを2秒以上押す

- ・お買い上げのときは「CLOCK H」が表示されます。

2 ▶▶I(またはI◀◀)を「ポン・ポン」と押して「SCM LINK」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「LINK OFF」にする



- ・Link表示が消えます。ソース(音源)を変えても同じサウンドになります。

- ・右方向に回すと「LINK ON」に戻せます。

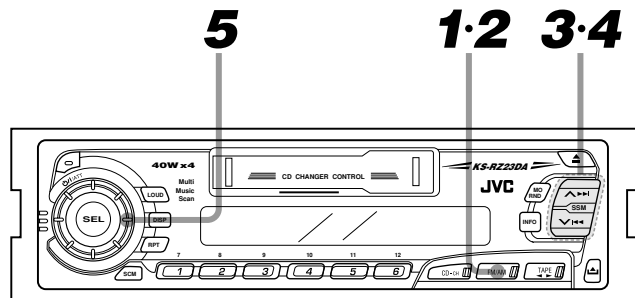
4 SELを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

マニュアル選局 ……電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。



● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(➡ 104ページ参照)のモードになります。

【ご注意】

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 FM/AMでソース(音源)を「ラジオ」にする ➡電源が入ります



・電源が入ると自動的に前の放送局を受信できます。
(FM放送の場合)
FM1または**FM 2**
が表示されます



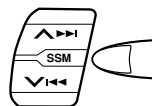
・表示窓にバンドと周波数が表示されます。
お買い上げ時は、**FM1** 76.0が表示されます。

2 FM/AMでバンドを 選ぶ



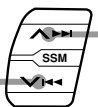
・押すごとに
FM1 ➡ FM2
↑ ↓
AM2 ◀ AM1
と変わります。
・AM放送はモノラル受信です。

3 選局ボタン(▲または▼)を1秒以上押し てマニュアル選局の モードにする



・選局ボタン(▲または▼)を1秒以上押し表示窓に「M」を点滅させます。

4 選局ボタン(▲または▼)で放送局に 合わせる

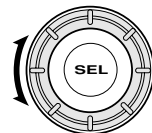


周波数が
下がる

周波数が
上がる

- ・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

5 ジョグダイヤルで音 量を調節する



SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強いFM放送の放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。(AM放送はできません)
旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM1にメモリーするとき

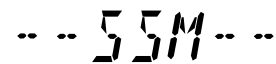
1 FM/AMでバンドを選ぶ(FM1にする)



2 選局ボタンのへと∨を同時に2秒以上押す



同時に2秒以上押す。



・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの(1)～(6)にメモリーしていきます。(前のメモリー内容は取り消されます)

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン(1)～(6)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“テープ”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ**の最大コントロール電流は250mAです)

オートアンテナ コードを接続しても、コントロール電流が過大で放送の受信がうまくできないときは、**リモート出力**に接続し直してください。

この場合、どのソース(音源)でもアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。

ご注意

●電動アンテナ装備車は、アンテナに十分ご注意ください。

ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

プリセット選局

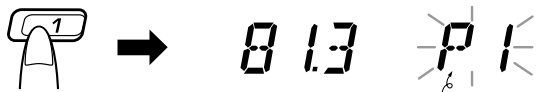
本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン $\boxed{1}$ にメモリーするには…

1 FM/AMで「FM1」を選ぶ → **FM1**

2 選局ボタン(▲または▼)で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの「 $\boxed{1}$ 」を2秒以上押す



プリセットボタンと同じチャンネル数字が点滅するとメモリーされます。

- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。
AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

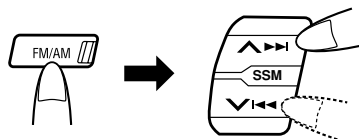
ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

「M」が表示窓に点滅表示されてないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



・ FM1 または FM2 を選ぶ。

「ポン」と押し離す。

メモリー MOボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切れます。表示窓に「MO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。

電波状態が良好になったら「ST」表示に戻してお使いください。

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

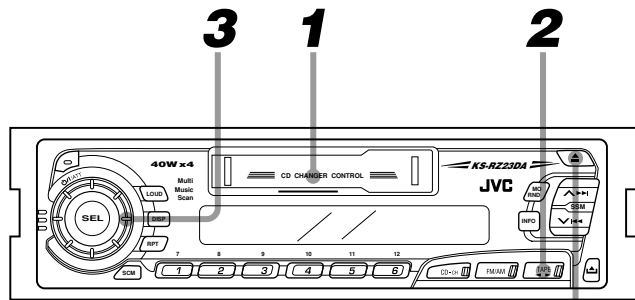
聞きたいところで**INFO**ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

INFO → **1620 PO**

- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中に**INFO**ボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量が**INFO**ボタンにメモリーされます。

テープを聞く

— 番号順に操作します。 —



▲(テープ取出し) ボタン

キーオフリリース/キーオンプレイ機構について

本機はテープ再生中にエンジンキーを「OFF」にすると、キーオフリリース機構により自動的にヘッドをテープから離してメカニズムを待機状態にします。

再びエンジンキーを「ON」にすると自動的にテープ再生になります。

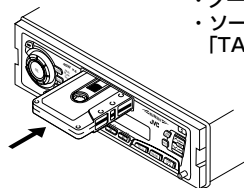
使えるカセットテープは

本機はノーマルテープ(タイプ I)専用です。

ハイポジションテープ(タイプ II)やメタルテープ(タイプ IV)は、お勧めできません。

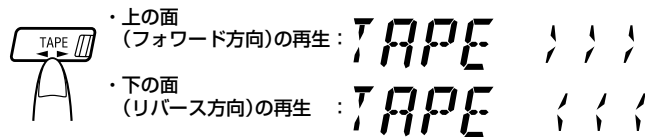
1 カセットを入れる→電源が入ります (上の面から自動で再生スタート)

- ・ノーマルテープ(タイプ I)専用です。
- ・ソース(音源)は「テープ」になります。表示窓に「TAPE」と再生方向が表示されます。



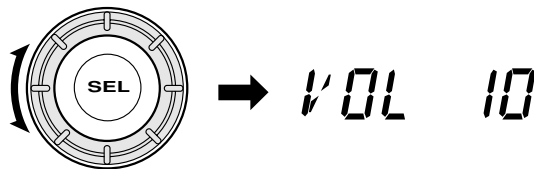
→ TAPE 
フォワード方向の再生の表示

2 TAPE ◀▶ を押して聞きたい面に合わせる



・「ボン」と押すごとに交互に変わります。

3 ジョグダイヤルで音量を調節する



テープを早送りしたり巻戻す



●テープを巻戻すとき \llcorner ボタンを1秒以上押す。表示窓に「REW」が表示され、巻き始めまで戻るとその面の再生を始めます。



●テープを早送りするとき \ggcorner ボタンを1秒以上押す。表示窓に「FF」が表示され、巻き終わりまで早送りすると反転してその面の巻き始めから再生します。

- 動作の途中で再生状態にしたいときは、TAPE \blacktriangleleft ボタンを「ポン」と押します。
- 早送りや巻戻し動作中は、テープ走行方向表示が早く点滅します。

くり返して聞く リピート RPTボタンの使いかた

再生中の曲をくり返して聞きたいときRPTボタンを押します。

表示窓に「REPEAT」が表示され、くり返し再生になります。

(RPTが表示窓で点灯し続けます)

やめるときは、もう一度RPTボタンを押すかまたはテープを取り出します。

ソース(音源)を切換えたときも解除されます。



ブランクスキップの使いかた

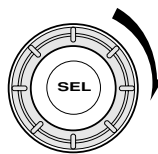
- ブランクスキップは、曲の終わりのあき(ブランク)を聞きたくないとき使います。
- 再生中に15秒以上のブランクが続くと、自動的に早送り選曲となり次の曲を見つけると再び再生を始めます。

1 SELを2秒以上押す

- お買い上げのときは「CLOCK H」が表示されます。

2 \ggcorner (または \llcorner)を「ポン・ポン」と押して「B. SKIP」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「ON」にする



- B. SKIPが表示窓に表示され、ブランクスキップが機能します。

- 左方向に回すと「OFF」が選べます。

4 SELを押す

- 元のソース(音源)表示に戻ります。

テープを聞く(つづき)

ミュージックスキャン(MS)の使いかた

ミュージックスキャンとは、曲と曲の間の録音されていないあき(ブランク)を検出して頭出しをする機能です。

前後9曲までの曲を飛び越して再生することができます。

操作手順 例：上の面の3曲を飛び越すとき

1 テープを入れ、▶▶Iを「ポン・ポン」と3回押す



・3曲進むときの操作です。



(3曲戻すときは◀◀Iボタンを3回押します)自動選曲の状態になります。

2 頭出しができるると再生が始まります

●頭出しの途中でテープが終わると

巻戻しで巻き始めまで戻ったときは、その面の頭から再生状態になります。早送りで巻き終わりまで行くと反転し、反転した面の巻き始めから再生状態になります。

カセットテープの取り扱いかた

- ・テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。
- ・テープを引きだしたり、テープ面にふれないでください。
- ・C-120などの長時間テープは薄いため、こきざみな走行や停止などをくり返すと、テープが機械の内部に巻き込まれることがありますのでご注意ください。



カセットテープの保管

- ・カセットテープはケースなどに納め、次のような場所は避けて保管してください。
- ・直射日光の当たる所
- ・ホコリや湿気の多い所
- ・スピーカーの上など磁気の影響を受けやすい所

ご注意

- クラシック音楽などで音が非常に小さい部分が長く続く曲や曲と曲の間が短すぎたり、雑音が録音されているとミュージックスキャンやブランクスキップが正常に動作しないことがあります。ブランクが4秒以上あるテープを使ってください。
- ミュージックスキャンの機能は、テープを取り出すと取り消されますが、ブランクスキップの機能は残ります。

テープを取り出すには



▲(テープ取出し)ボタンを押します。テープを入れる前のソース(音源)になります。本機はエンジンキーが「OFF」のときでもテープが入っていれば、▲(テープ取出し)ボタンでテープが取り出せます。この場合、テープが出てくると自動で電源が切れます。

ヘッド部の清掃

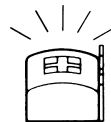
ヘッドは音をひろいだす大切な部分です。

ヘッドが汚れると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 音がとぎれる。

などの症状がでます。

症状がでてくる前に(およそ10時間使うごとに)、別売りのオートヘッドクリーナー「CK-6型」を使ってヘッド部を清掃してください。詳しくはオートヘッドクリーナーの説明書を参照してください。



《お知らせ》

- テープを他の人が取り出せないようにする(盗難防止)



を押したまま



を同時に2秒以上押す。

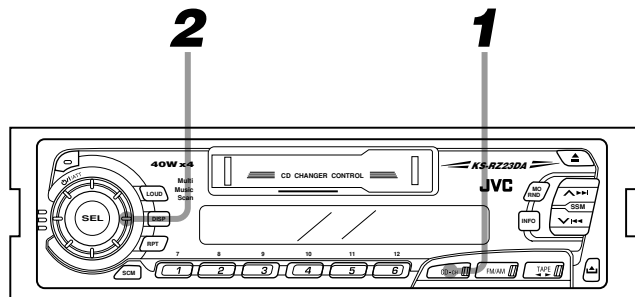


- ・「NO EJECT」が点滅表示され、テープの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が表示され、テープの取り出しができるように戻ります。

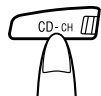
CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

全曲演奏 — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



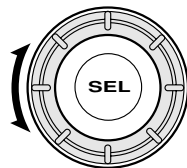
1 CD-CHでソース(音源)を「CDチェンジャー」にする→電源が入ります



- ・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると自動的に演奏が始まります。
- ・マガジンを入れ換えたときも、1枚目の1曲目から演奏が始まります。

CD 1-01

2 ジョグダイヤルで音量を調節する



→ VOL 10

- CD-CHボタンを押しても「CDチェンジャー」に切り換えができないときは…

CD-CHボタンのモードを「LINE IN」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。→ 31 ページ参照

- 最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります。(全CDのくり返し演奏になります)

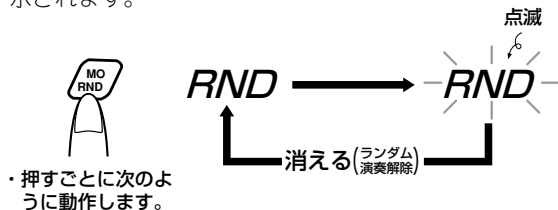
● 演奏を途中でやめる

FM/AMやTAPE ◀▶ ボタンを押して他のソース(音源)に切り換えます。

ランダム演奏

ランダム

- ・ RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。表示窓に「RND 1」または「RND 2」が表示されます。

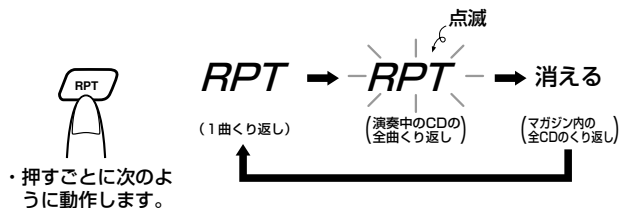


- ・ **RND 1** : 演奏中のCDでランダム演奏をします。始めのCDの演奏が終わると次のCDでランダム演奏になります。
(RNDが表示窓で点灯し続けます)
- ・ **RND 2** : マガジン内の全てのCDでランダム演奏をします。
(RNDが表示窓で点滅し続けます)

リピート演奏(くり返し演奏)

リピート

- ・ RPTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。表示窓に「RPT 1」または「RPT 2」が表示されます。

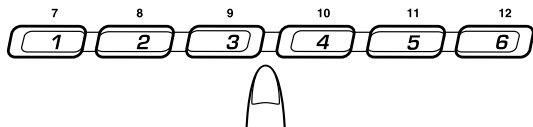


- ・ **RPT 1** : 演奏中の1曲をくり返して聞くことができます。
(RPTが表示窓で点灯し続けます)
- ・ **RPT 2** : 演奏中のCDの全曲をくり返して聞くことができます。
(RPTが表示窓で点滅し続けます)

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

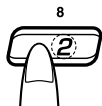
聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

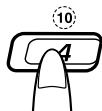
- ・ 1～6枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号のボタンを「ポン」と押します。

例：2枚目のとき



- ・ 7～12枚目を選ぶときは：ボタンの上のパネル面に表示されている番号のすぐ下のボタンを1秒以上押し続けます。

例：10枚目のとき



スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには



- ・ ▶▶ ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

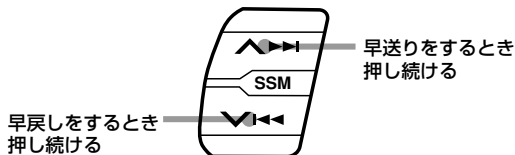
- 演奏中に前の曲を聞くには



- ・ ◀◀ ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

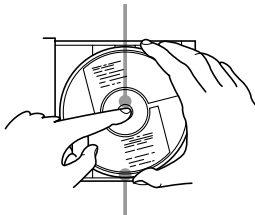
テレホンミュージングについて

お願い

- CDを保管するときは
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。

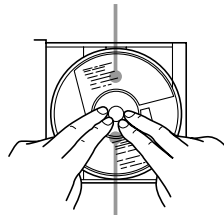
- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ…



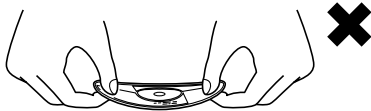
演奏面(虹色に光っている面)に
触れないように持って出す。

文字のある面を上にして…



上から押さえて入れる。

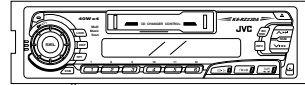
- ラベル面に紙を張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。



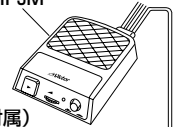
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。シェイプCDを入れると、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。必ず専用のトレイ：XC-M208J(別売り)をお使いください。

接続のしかた

JVC
KS-RZ23DA



ビクター製
ハンズフリーシステム
TF-HF5M



接続コード：(TF-HF5Mに付属)

テレホン
ミュージング

- 接続については、別冊の取付説明書をご覧ください。

テレホンミュージングとは

ビクター製のハンズフリーシステム：TF-HF5Mと接続した携帯電話やPHSに着信すると、表示窓に「TEL」が点滅表示され本機の音が自動的に出なくなります。これをテレホンミュージングといい通話しやすくなります。

相手が切る*と自動で本機からの音が出るように戻ります。

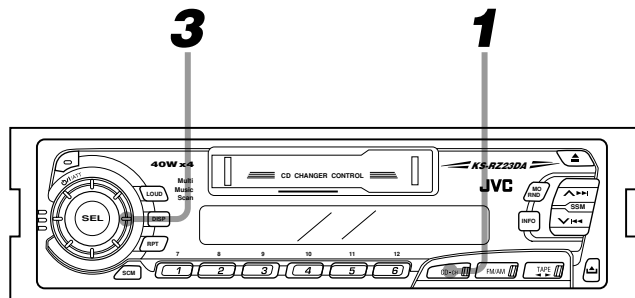
* ビクター製のハンズフリーシステムは、自動着信&自動終了方式となっております。こちらで通話をON/OFFする必要はありません。

《お知らせ》

- ビクター製のハンズフリーシステムに適用する携帯電話やPHSは、ハンズフリーシステムのカatalog・取扱説明書をご覧ください。また日本ビクターのホームページでもご覧になれます。
日本ビクターのホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。 —



- あらかじめCD-CHボタンを「LINE IN」のモードに切換えておきます。→ 31ページ参照

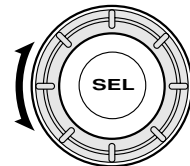
1 CD-CHを押す→電源が入ります



2 接続した機器を演奏状態にする

- ・ 接続した機器に音量調節があるときは、できるだけ大きく調節しておきます。

3 ジョグダイヤルで音量を調節する



〈お知らせ〉

- 他の機器(RCAの2チャンネル出力端子付)は、変換コード* : KS-U 57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続することができます。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。

レベルメーターの表示切換え

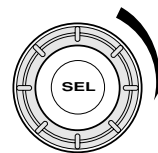
レベルメーターの表示を変えるには

1 SELを2秒以上押す

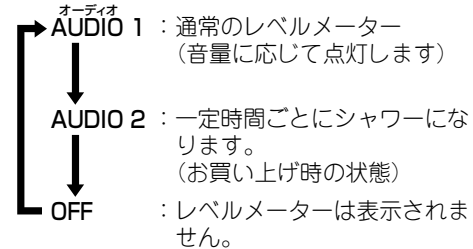
・お買い上げのときは「CLOCK H」が表示されます。

2 ▶▶I(またはI◀◀)を「ポン・ポン」と押して「LEVEL」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで表示を選ぶ



・左方向に回すと逆に表示されます。



4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CD-CHボタンのモードを変更するには

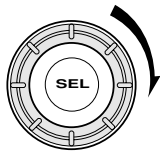
CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD-CHボタンのモードを「LINE IN」に変えます。ソース(音源)は「CDチェンジャー」以外にしておきます。

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「CLOCK H」が表示されます。

2 ▶▶I(またはI◀◀)を「ポン・ポン」と押して「EXT IN」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「LINE IN」にする



・左方向に回すと逆に表示されます。

CHANGER : CDチェンジャーをつないだとき

↓
LINE IN : 他のカーAV機器をつないだとき

4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順2のとき「EXT IN」にはなりません。

コントロールパネルの着脱

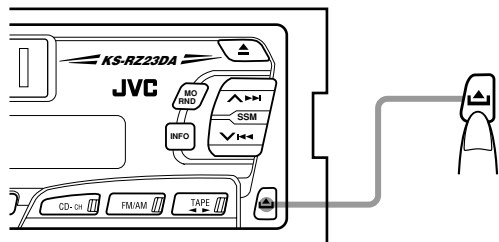
— コントロールパネルの盗難防止ができます。 —

コントロールパネルを外すには

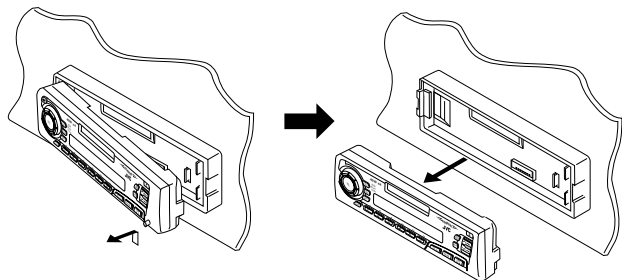
- ① 電源(電源)/ATTを1秒以上押して電源を切る



- ② コントロールパネル取り出し(△)を押す

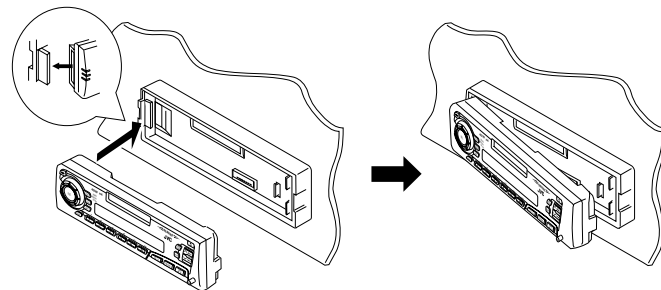


- ③ 前に押し出されたコントロールパネルを外す

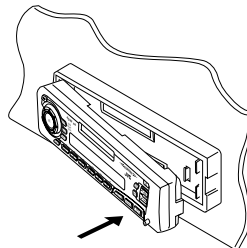


外したコントロールパネルを元に戻すには

- ① コントロールパネルの左側を本体に合わせて入れる



- ② コントロールパネルの右側を「カチッ」と音がするまで押す



正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(フロント/リア40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、テープやCDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●CDチェンジャーの接続について

本機のCDチェンジャー接続用端子(8ピン)は、JVC製品専用です。他社のCDチェンジャーを接続することはできません。

●外国での使用は…

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

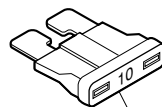
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因となります。

バランスド トランスフォーマーレス
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは10A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買上げの販売店にご相談ください。また、10Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(10A)

こんなときは

— 「故障かな?」と思ったら… —

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
CD-CHボタンを押してもCDチェンジャーの操作ができない。	・ CDチェンジャーと正しく接続されていない。	・ 正しく接続し直し、CDチェンジャーのリセットボタンを押す。
▲ボタンを押してもテープの取り出しができない。	・ テープが盗難防止状態になっている。 → 18 ページ参照	・ TAPE ◀▶ ボタンを押したまま▲ボタンを同時に2秒以上押す。→ EJECT OK が表示されたらもう一度▲ボタンを押す。
音が小さい、音質が良くない。 音がとぎれる。(テープ)	・ ヘッド部が汚れている。	・ ヘッドクリーナーで定期的に清掃する。 → 18 ページ参照
ミュージックスキャン(自動選曲)がうまくできない。(テープ)	・ 曲と曲の間のブランクが短すぎる(3秒以下)か、録音レベルの低いテープを使っている。	・ カセットテープを交換する。
AM放送がうまく受信できない。	・ オートアンテナのコントロール電流が250mAを超えている。 ・ 車両のオートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に[オートアンテナコード]が接続されていない。	・ [リモート出力]コードをオートアンテナに接続するように変更する。→ 19 ページ参照 ・ [オートアンテナ]コードを接続する。 → 19 ページ参照
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ 電源/ATTボタンとSELボタンを同時に2秒以上押してリセットする。 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも具合の悪いときは、お買上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC カセットレシーバー：KS-RZ23DA

・ お名前とおところ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 テープの再生音が出ない

別売りアクセサリ

・ オートヘッドクリーナー：CK-6

・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)

・ 変 換 コ ー ド：KS-U57

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント/リア 40W+40W(4Ω、1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
(またはカーAV機器)接続用1.5V/20kΩ
- 出力端子：RCA端子(1系統)、2.0V/1kΩ
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター
オートアンテナコントロール電源コード付
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43μV/75Ω)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz～1,629kHz
 - 実用感度：27dBμ(22.4μV)

カセットプレーヤー部

- トラック方式：コンパクトカセット・ステレオ
- ワウ・フラッター：0.1% W・RMS
- 早巻き時間：約100秒(C-60)
- 周波数特性(再生)：ノーマルテープ 30Hz～16kHz
- SN比(ノーマルテープ)：54dB

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行166mm
- 質量：約1.3kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・化粧プレート…………… 1

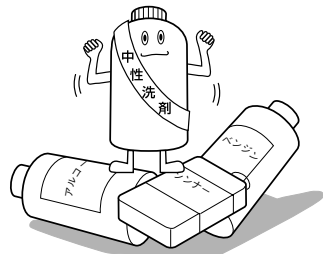
お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



用語索引

あ行

- ATT アッテネーター 14
- アンテナリモート 19

か行

- カセットテープ 22 24
- キーオンリリース／キーオンプレイ 22
- 現在時刻 14

さ行

- サウンドコントロールメモリー(SCM) 16
- SCM LINK リンク 16
- サーチ演奏 28
- シーク選局(自動選局) 20
- スキップ演奏 28
- SSM(ストロングステーションメモリー) 19

た行

- テレホンミュージング機能 29
- 道路交通情報 21

は行

- BTL回路方式 33
- ブランクスリップ 23
- プリセット選局 20

ま行

- マニュアル選局 18
- ミュージックスキャン 24
- モノラル受信 20

ら行

- ラウドネスコントロール 16
- ランダム演奏 27
- リピート演奏 27
- レベルメーター 31

製造元



お問い合わせ先

モバイルエレクトロニクス事業部

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン(027)254-8926

発売元



カーエレクトロニクス部

〒108-8307 東京都港区三田3-13-16
(三田43森ビル)

☎ (03)3454-0942